

証券アナリスト講義録	科目	市場と経済	コース	2次直前 セミナー	回数	/
------------	----	-------	-----	--------------	----	---

配布物	★ミニテスト：あり [] なし ★実力テスト：あり [] なし ◇配布物なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説 ★その他のレジュメ []	講師	小川 先生
-----	--	--------------------------------------	----	-------

テキスト ページ	黒 板 内 容
	2次 直前対策セミナー 市場と経済の分析 ① マクロ経済学 (国際経済学を含む) ② ミクロ経済学 ⇒ ゲーム理論, 情報の経済学 ③ 経済事情 ・ 時事 <ポイント> ・ IS - LM, AD - AS ・ 金融政策) 純粋期待仮説 ⇒ 長期金利 (イールドカーブ) ・ 為替レート ・ 貯蓄投資バランス IS $(S - I) + (T - G) = EX - IM$ 民間 財政収支 経常収支 国内貯蓄超過 +20 (資金余剰) +20 黒字 ↘ 対外債権の純増 +20

証券アナリスト 2 次 (2011 年対策)

直前対策セミナー

－ 市場と経済の分析 －

1. 「市場と経済の分析」の概要

- 従来の「経済」科目が、平成 20 年 (2008 年) の本試験から「市場と経済の分析」に変更された。現在までに新プログラムに基づく試験は 3 回実施されている。
- 主な学習領域は、以下の通り。
 - ① マクロ経済学 (国際経済学を含む)
 - ② ミクロ経済学
 - ③ 経済事情
- ① マクロ経済学は、新プログラム試験になっても中心的な学習分野になっている。中央銀行の金融政策や政府の財政政策、為替市場介入など、経済政策との関係で出題されることが多い。
- ② ミクロ経済学は、新プログラム試験における最も特徴的な分野といえる。ゲーム理論 (同時決定ゲーム、逐次ゲーム) と情報の経済学 (逆選択、モラルハザード) について、具体例を用いた問題に多くあたっておく必要がある。
- ③ 経済事情は、現実の時事的な話題についての知識である。

2. 新プログラム試験の出題実績

➤ 過去3回の新プログラム試験で出題された問題は、以下の通り。

第1回（平成20年）	配点ウェイト	10.7%（＝経済45／満点420）
------------	--------	--------------------

第1時限・第1問 経済動向分析

業況判断DIと物価上昇率、政策金利、イールドカーブ

第1時限・第7問 金融政策とマクロ経済＋IS-LM分析

テイラールールに基づいて今後10年間の政策金利の方向を予想。

第2時限・第9問 複占市場とナッシュ均衡（ミクロ経済学）

クールノー・ナッシュ均衡となる各社の生産量を求める計算問題。

第2回（平成21年）	配点ウェイト	14.2%（＝経済60／満点420）
------------	--------	--------------------

第1時限・第1問 マクロ経済と株式投資収益率

GDPと企業業績の差異、労働分配率と株式投資収益率の関係等。

第1時限・第8問 国際経済・金融市場の諸問題

米国の双子の赤字、グローバルインバランス、人民元改革等。

第2時限・第9問 為替市場介入

不胎化介入と非不胎化介入、

IS-LM分析を用いた非不胎化介入の効果、投資戦略。

第3回（平成22年）	配点ウェイト	14.2%（＝経済60／満点420）
------------	--------	--------------------

第1時限・第1問 マクロ経済

日本の貯蓄投資バランスと国債市場

貯蓄投資バランスと資金過不足、少子高齢化と国債金利。

第1時限・第7問 ゲーム理論と情報の経済学（ミクロ経済学）

同時決定ゲーム、逐次ゲーム、貸出市場における逆選択問題。

第2時限・第9問 マクロ経済と金融政策

AD-AS（総需要-総供給）分析、デフレと企業収益の関係、

イールドカーブ（純粋期待仮説）、

インフレターゲティング（概要、問題点）